

NIKKEI MESSE

街づくり・店づくり総合展

第42回 流通情報システム総合展

リテールテック JAPAN 2026

NIKKEI
MESSE
街づくり・店づくり総合展

出会いから
ミライはじまる。

第42回 流通情報システム総合展 **特別企画展** リテール物流
リテールテック JAPAN 2026

3.3(火) - 6(金) 10:00 ~ 17:00
(最終日のみ16:30まで) **東京ビッグサイト 東展示棟**

【主催】日本経済新聞社
【同時開催展】 JAPAN SHOP/建築・建材展/ライティング・フェア/Good 家電 Expo/
SECURITY SHOW/ビルメン CONNECT/フランチャイズショー/人手不足対策展/
インバウンドビジネス展* (※R44444)
【問い合わせ先】 0120-261-122 (受付: 9:30-17:30) 111441-3813 (日中) 03-5561-1111

<https://www.retailtech.jp/>
入場無料。ご来場にはウェブサイトから事前登録が必要です。

〈次回開催予定〉
リテールテック大阪2026 7.2(木) - 3(金) インテックス大阪

報告書

日本経済新聞社

目次

ごあいさつ	1
開催概要	2
展示規模	3
来場者数	3
会場図	4
出展者一覧	6
出展者アンケート集計結果	7
来場者アンケート集計結果	8
会場風景	10
セミナープログラム	14
広報・宣伝実績／各種制作物	17
次回開催のご案内	

※本報告書に記載している出展者名、セミナー講師の肩書き等は開催時点のものです。

ごあいさつ

日本経済新聞社は、2026年3月3日(火)から6日(金)までの4日間、東京ビッグサイトにて「リテールテックJAPAN 2026」を開催いたしました。国内最大の流通業向け情報システム総合展として42回目を迎え、283社・団体、1,280小間と過去最大規模で開催することができました。来場者数も73,659人に上りました。

リテールテックJAPANの来場対象である小売、飲食などの流通業は「選ばれる時代」になっています。主なステークホルダーのうち、これまでは消費者と株主から選ばれる存在でした。しかし、人手不足や供給力の減少から、これまで選ぶ存在であった従業員とサプライヤーからも選ばれる時代になっています。

人手不足は生産年齢人口の減少が明らかになる一方、65歳以上の方などに働いていただけるようになり、現在のところ労働人口は大きく減少しておりません。10年後、20年後を考えた場合、大きく減少するのは明らかです。配送事業者も含めたサプライヤーの供給力不足も顕在化しています。夜のスーパーで生鮮食品の棚に商品がほとんどない、といった光景を目の当たりにすることも増えたのではないのでしょうか。解決のためには、生産性を高め適切な賃金を支払うこと、スキマバイトや外国人の方など業務に慣れていない方でも「働きやすい環境」を整備することが必要です。そして、サプライヤーの方に政府の施策で示されている以上の「十分な対価」を支払うことが流通業に求められています。

そして、一番選ばれる必要がある消費者。「自宅の近くでカレーの材料を安く揃えられるお勧めの店を教えてください」「12月〇日に個室で忘年会ができる〇〇界隈の店を教えてください。飲み放題付きで予算8,000円以内」生成AIにこんな質問をされている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。消費者がAIを活用して店を選ぶ。そんな時代が近づいています。在庫、値段、ロケーション、空席といった「現在の店の情報の公開」がAIを介して消費者に選ばれるためには必要です。

生産性を向上し、従業員の方に「働きやすい環境」を整備し、サプライヤーに「十分な対価」を支払う。そして、「現在の店の情報の公開」する。ひとつの例に過ぎませんが、これはリテールテックJAPANで紹介いただいた出展者様のシステム、機器、サービスで実現できるはずで、さらに人手不足や消費者の購買行動の変化が想定される中、買い物や飲食などの流通業のサービスが永い将来続くために、さらに高度化されたシステム、機器、サービスが次回のリテールテックJAPANに紹介いただくことを主催者として切に願っております。

本年の7月2日(木)、3日(金)にはインテックス大阪で第6回「リテールテック大阪 2026」を開催します。また、次回の「リテールテック JAPAN 2027」は、2027年3月2日(火)から5日(金)の会期で、東京ビッグサイトで開催いたします。東京だけでなく、関西でも、流通業界が直面する様々な課題を解決できる流通DXを紹介し、多くの方々にご来場いただけるようにさらに尽力してまいります。

最後になりましたが、「リテールテックJAPAN 2026」にご出展・ご参加いただきました企業・団体の皆様、そしてセミナーや企画などにご協力をいただきました関連団体の皆様に厚く御礼を申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

2026年4月

日本経済新聞社

開催概要

第42回 流通情報システム総合展

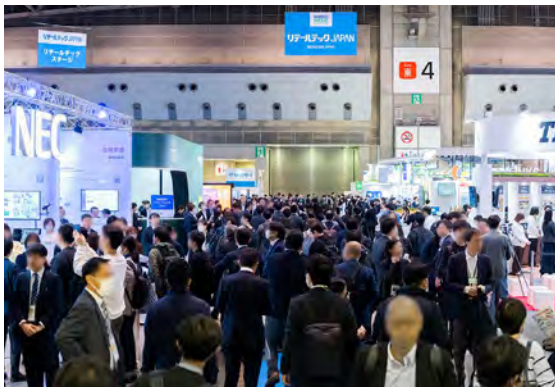
リテールテック JAPAN 2026

<https://www.retailtech.jp/>

- 会 期 | 2026年3月3日(火)～6日(金) 午前10時～午後5時(最終日のみ午後4時30分終了)
- 会 場 | 東京国際展示場[東京ビッグサイト]東展示棟(東京都江東区有明3-10-1)
- 主 催 | 日本経済新聞社
- 特別協力 | GS1 Japan((一財)流通システム開発センター)
- 後 援 | 経済産業省、総務省、中小企業庁、日本商工会議所、東京商工会議所、全国商工会連合会(順不同)
- 協 賛 | 日本小売業協会、(一社)日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、
(一社)日本ショッピングセンター協会、(一社)日本フランチャイズチェーン協会、
(一社)日本ボランタリーチェーン協会、(一社)日本スーパーマーケット協会、
オール日本スーパーマーケット協会、(協組)エヌシー日商連、(協連)日本専門店会連盟、
(一社)日本アパレル・ファッション産業協会、(一社)日本クレジット協会、(一社)全国銀行協会、
(一社)全国地方銀行協会、(一社)全国信用金庫協会、(一社)ビジネス機械・情報システム産業協会、
(一社)日本自動販売システム機械工業会、(公社)日本防犯設備協会、(一財)日本情報経済社会推進協会、
(一社)情報サービス産業協会、(一財)ニューメディア開発協会、日本クレジットカード協会、
(一社)日本コンタクトセンター協会、(一社)日本自動認識システム協会、(一社)流通問題研究協会、
日本電子決済推進機構日本デビットカード推進協議会、工業会 日本万引防止システム協会、
(公社)日本ロジスティクスシステム協会、(公財)流通経済研究所、(公社)日本通信販売協会、
(一社)ID認証技術推進協会(順不同)
- 協 力 | テレビ東京、日経BP(順不同)
- 入 場 料 | 無料(事前登録制)

「日経メッセ 街づくり・店づくり総合展」同時開催展

- JAPAN SHOP 2026(第55回 店舗総合見本市)〈西展示棟〉
- 建築・建材展 2026(第32回)〈西展示棟〉
- ライティング・フェア 2026(第19回 国際照明総合展)〈西展示棟〉
- Good 家電 Expo 2026(第3回)〈西展示棟〉
- SECURITY SHOW 2026(第34回 セキュリティ・安全管理総合展)〈東展示棟〉
- ビルメン CONNECT 2026(第2回)〈東展示棟〉
- フランチャイズ・ショー 2026(第43回)〈南展示棟〉
- 人手不足対策展(初開催)〈南展示棟〉
- インバウンドビジネス展(初開催)〈南展示棟〉



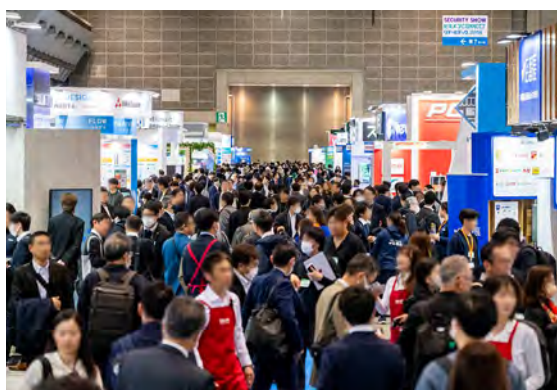
展示規模

日経メッセ 街づくり・店づくり総合展

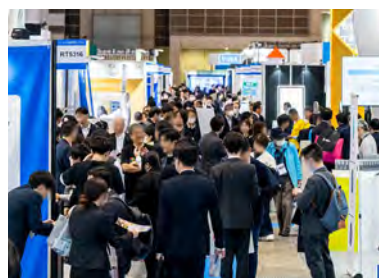
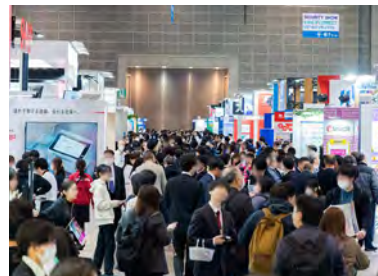
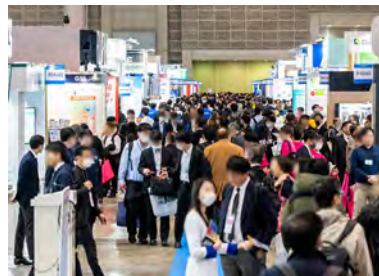
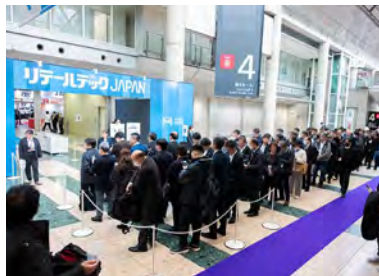
展示会名	出展者数	展示小間数
リテールテックJAPAN	283	1,280
JAPAN SHOP	208	550
建築・建材展	204	433
ライティング・フェア	47	56
Good 家電 Expo	22	26
SECURITY SHOW	101	224
ビルメン CONNECT	19	35
フランチャイズ・ショー	201	414
人手不足対策展	16	20
インバウンドビジネス展	40	44
全展合計	1,141	3,082

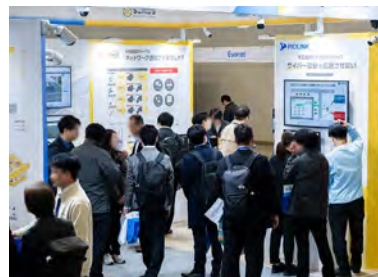
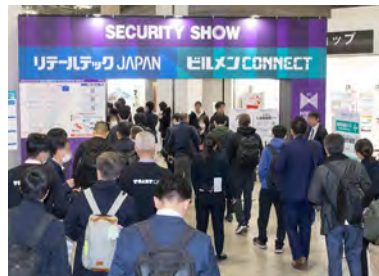
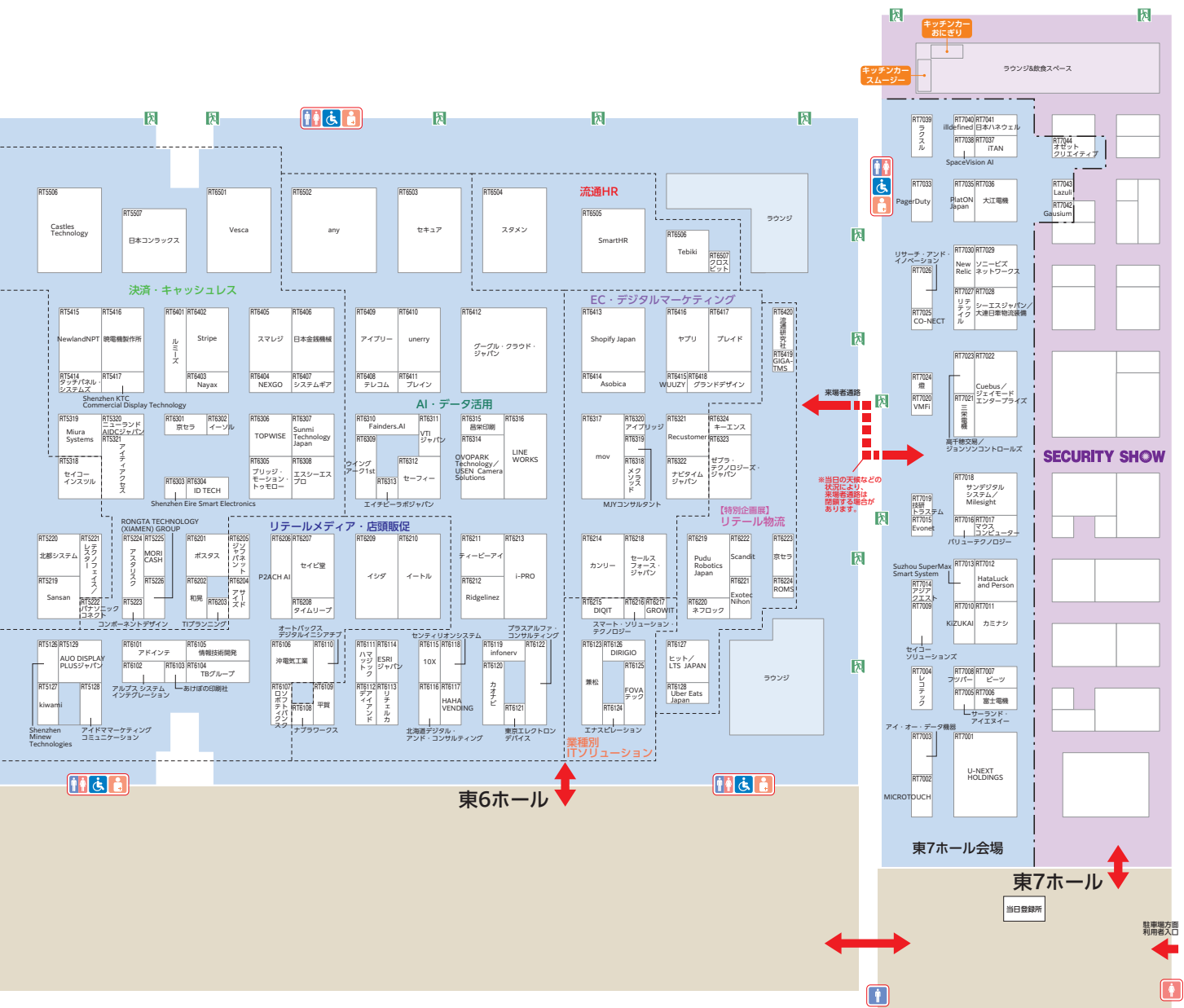
来場者数

日付	天気	リテールテックJAPAN 来場者数
3月3日(火)	雨	13,158人
3月4日(水)	晴れ	18,308人
3月5日(木)	晴れ	20,876人
3月6日(金)	曇り	21,317人
合計		73,659人



会場図





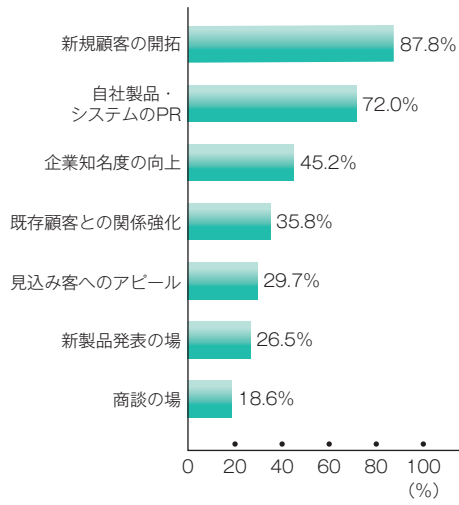
リテールテック JAPAN 2026

アイアンドディ	RT6112	サーランド・アイエヌイー	RT7005	Nayax	RT6403
アイ・オー・データ機器	RT7003	サイエンスアーツ	RT5311	日本コンラックス	RT5507
アイティアクセス	RT5321	サイバリンクス	RT4301	日本HP	RT5213
IT SOLUTION	RT5217	三栄電機	RT7021	日本NCRコマース	RT4403
ID TECH	RT6304	Sansan	RT5219	日本金銭機械	RT6406
アイドマーケティングコミュニケーション	RT5128	サンデジタルシステム	RT7018	日本工業出版	RT5108
アイニックス	RT4303	Sunmi Technology Japan	RT6307	日本自動認識システム協会	RT5107
アイブリー	RT6409	シーエスジャパン	RT7028	日本ハネウェル	RT7041
アイブリッジ	RT6320	GS1 Japan(流通システム開発センター)	RT5302	日本マイクソフト	RT5315
i-PRO	RT6213	ZKONG	RT5216	ニュージーランドAIDCジャパン	RT5320
暁電機製作所	RT5416	ジィ・シー企画	RT5505	NewlandNPT	RT5415
燈	RT7024	J&J Tax Free	RT5202	New Relic	RT7030
Axiomtek	RT5119	ジェイモードエンタープライズ	RT7022	NEXGO	RT6404
アクテック	RT4106	JAIOTSOLUTION	RT5214	ネットパイロティング	RT5209
あけぼの印刷社	RT6103	General Touch	RT5103	ネフロック	RT6220
アジャクエスト	RT7014	Shenzhen WestarPOS Technology	RT5101	PARTRON ESL Japan	RT5211
アスタリスク	RT5121	システムギア	RT6407	HataLuck and Person	RT7012
アスタリスク	RT5224	システムベース	RT5309	Pax Japan	RT5313
Asobica	RT6414	シャープ	RT4503	発注ナビ	RT5316
アドインテ	RT6101	Shanghai Pohang CMC Tech	RT4107	パナソニック コネクト	RT5222
アルプス システム インテグレーション	RT6102	昌栄印刷	RT6315	HAHA VENDING	RT6117
イーソル	RT6302	情報技術開発	RT6105	バリュートクノロジー	RT7016
イートル	RT6210	Shopify Japan	RT6413	バリュートデザイン	RT4302
イシダ	RT6209	ジョンソンコントロールズ	RT7023	PFU	RT5408
ITAN	RT7037	Shenzhen Minew Technologies	RT5126	ピーツ	RT7007
イメジャー	RT4202	Shenzhen Eire Smart Electronics	RT6303	光商事	RT5111
illdefined	RT7040	Shenzhen KTC Commercial Display Technology	RT5417	ピジコム	RT4501
infonerv	RT6119	Suzhou SuperMax Smart System	RT7013	日立グループ	RT4502
VMFi	RT7020	S k y	RT5312	P2ACH AI	RT6206
VTIジャパン	RT6311	Scandit	RT6222	ヒット	RT6127
ウイングアーク1st	RT6309	スコープ	RT5206	BIPROGY	RT5504
ウィンクス	RT4103	スターマーケティングジャパン	RT5113	平賀	RT6109
WUUZUY	RT6415	スタメン	RT6504	Fainders.AI	RT6310
Uber Eats Japan	RT6128	STORES	RT5110	Fujian MIFLY Technology	RT5104
ウェブスペース	RT5505	Stripe	RT6402	Pudu Robotics Japan	RT6219
VusionGroup	RT4304	SpaceVision AI	RT7038	FOVAテック	RT6125
unerry	RT6410	SmartHR	RT6505	富士通グループ	RT4102
UROVO	RT5306	スマート・ソリューション・テクノロジー	RT6216	富士電機	RT7006
HBA	RT5310	スマレジ	RT6405	富士フィルムシステムサービス	RT5307
エイチビラボジャパン	RT6313	セイコーインスツル	RT5318	富士フィルムビジネスイノベーション	RT5307
Avalueジャパン	RT5116	セイコーソリューションズ	RT7009	フツパー	RT7008
AUO DISPLAY PLUSジャパン	RT5129	セイビ堂	RT6207	ブライセン	RT5207
Exotec Nihon	RT6221	セーフィー	RT6312	ブラザー販売	RT5412
エス・アイ・シー	RT5406	セールスフォース・ジャパン	RT6218	プラスアルファ・コンサルティング	RT6122
エスシーエスプロ	RT6308	セキユア	RT6503	PlatON Japan	RT7035
SJC	RT5304	ゼブラ・テクノロジーズ・ジャパン	RT6323	ブリッジ・モーション・トゥモロー	RT6305
ESRIジャパン	RT6114	SENSY	RT4204	Preferred Networks	RT5204
Xprinter Group	RT5210	センチリオンシステム	RT6118	BLUEBIRD	RT5305
エナスピレーション	RT6124	ソニー	RT5503	ブレイド	RT6417
any	RT6502	ソニーネットワークコミュニケーションズ	RT5503	ブレイン	RT6411
NECグループ	RT4101	ソニービズネットワークス	RT7029	プロテックジャパン	RT4104
エフケイシステム	RT5123	ソニーマーケティング	RT5503	PagerDuty	RT7033
エプソン販売	RT5501	ソフトバンク	RT5410	Vesca	RT6501
Evonet	RT7015	ソフトバンクロボティクス	RT6107	Point Mobile Japan	RT5212
MJYコンサルタント	RT6319	ソフトバンクジャパン	RT6205	北都システム	RT5220
LTS JAPAN	RT6127	ソリマチ技研	RT5124	ポジフレックスジャパン	RT5411
OVOPARK Technology	RT6314	SOLUM	RT5504	ポスタス	RT6201
大江電機	RT7036	Zonerich	RT4108	北海道デジタル・アンド・コンサルティング	RT6116
大塚商会	RT5208	タイムリーブ	RT6208	マースウインテック	RT5114
オーディーエス	RT4105	ダイヤモンド・リテイルメディア	RT5109	MICRO TOUCH	RT7002
オートバックスデジタルイニシアチブ	RT6110	大連日華物流装備	RT7028	Milesight	RT7018
沖電気工業	RT6106	高崎共同計算センター	RT5215	マウスコンピューター	RT7017
オスティアリーズ	RT5118	高千穂交易	RT7023	マジックハット	RT6111
オゼットクリエイティブ	RT7044	タカヤ	RT5120	Miura Systems	RT5319
オムロン フィールドエンジニアリング	RT5201	タグジャパン	RT5407	三井住友カード	RT4402
Gausium	RT7042	タッチパネル・システムズ	RT5414	ミライト・ワン	RT5403
カオナビ	RT6120	dunnhumby	RT5413	MORICASH	RT5225
兼松	RT6123	TIプランニング	RT6203	mov	RT6317
カミナシ	RT7011	ディーグラット	RT5102	森創	RT5303
カンリー	RT6214	ディービーアイ	RT6211	ヤブリ	RT6416
キーエンス	RT5314	TBグループ	RT5301	u g o	RT5115
キーエンス	RT6324	TBグループ	RT6104	USEN Camera Solutions	RT6314
GIGA-TMS	RT6419	DIQIT	RT6215	U-NEXT HOLDINGS	RT7001
技研トラステム	RT7019	帝人フロンティア	RT5218	LINE WORKS	RT6316
KiZUKAI	RT7010	DIRIGIO	RT6126	ラクスル	RT7039
Castles Technology	RT5506	データコム	RT5205	Lazuli	RT7043
Cuebus	RT7022	テクノフェイス	RT5221	LABAU TECHNOLOGY	RT4203
京セラ	RT6223	テスク	RT5105	Recustomer	RT6321
京セラ	RT6301	テックリテイル	RT7027	リコージャパン	RT5404
杏林社	RT5203	Tebiki	RT6506	リサーチ・アンド・イノベーション	RT7026
kiwami	RT5127	テレコム	RT6408	リチェルカ	RT6113
グーグル・クラウド・ジャパン	RT6412	10X	RT6115	Ridgelinez	RT6212
グッドプランニング	RT5125	東京エレクトロニクスデバイス	RT6121	流通研究社	RT6420
クラスメソッド	RT6318	東計電算	RT5112	流通情報ラベル社	RT5106
グランドデザイン	RT6418	東芝テック	RT4201	リンコム	RT5409
ClipLine	RT5317	TOPPAN	RT5502	ルミーズ	RT6401
CREiST	RT5403	TOPWISE	RT6306	レコテック	RT7004
KREO	RT5308	トマトランド	RT5122	レスター	RT5221
GROWIT	RT6217	トランザクション・メディア・ネットワークス	RT5505	ローレルバンクマシン	RT5402
Global Blue TFS Japan	RT5117	Transcend Retail Solutions	RT5413	ROMS	RT6224
グローリー	RT4401	ドリマー・アーツ	RT5401	RONGTA TECHNOLOGY(XIAMEN)GROUP	RT5226
クロスビット	RT6507	長野テクトロン	RT5405	和晃	RT6202
CO-NECT	RT7025	ナスコー	RT4108	和信テック	RT5210
コンポーネントデザイン	RT5223	ナビタイムジャパン	RT6322		
サードアイズ	RT6204	ナブラワークス	RT6108		

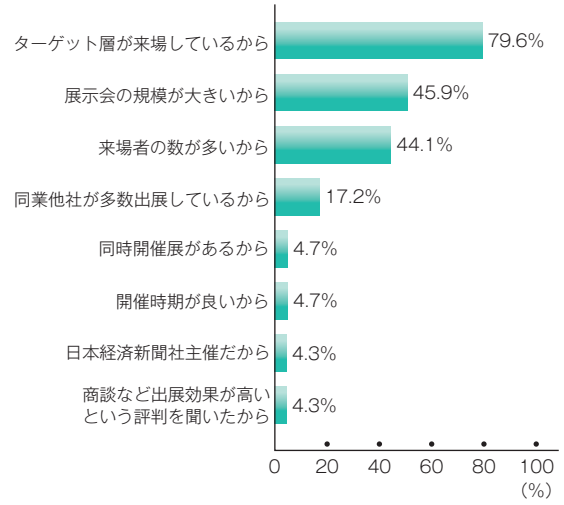
出展者アンケート集計結果

(回答数279人) ※四捨五入の関係で合計が100.0%にならない場合があります。

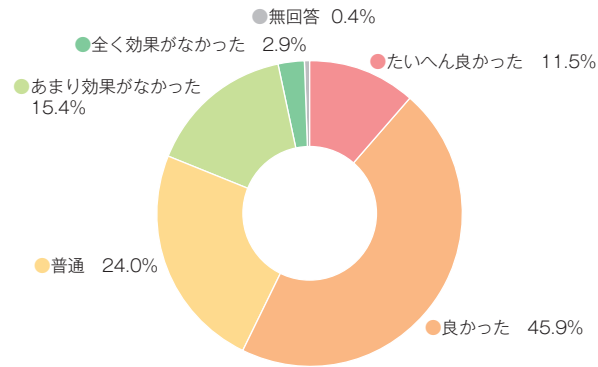
1 出展目的(複数回答)



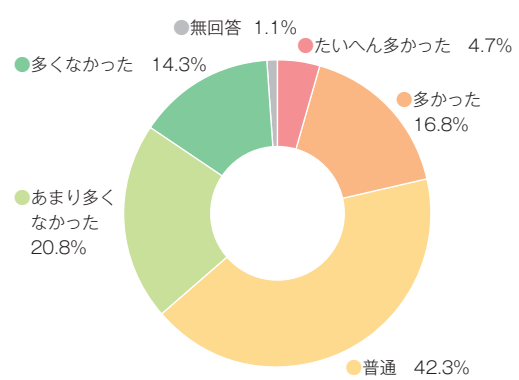
2 出展理由(複数回答)



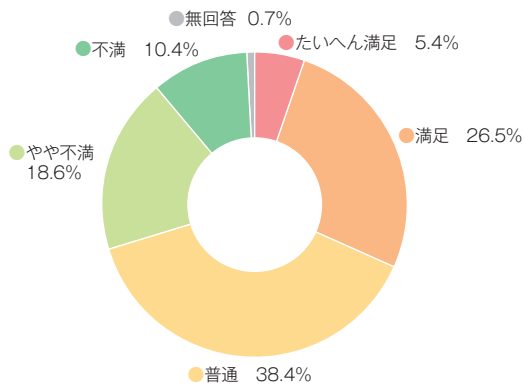
3 出展の感想



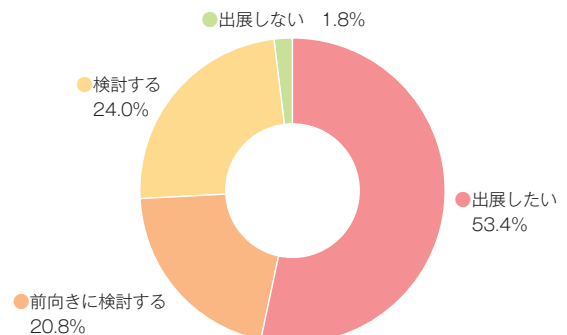
4 商談件数



5 来場者数



6 次回の出展意向

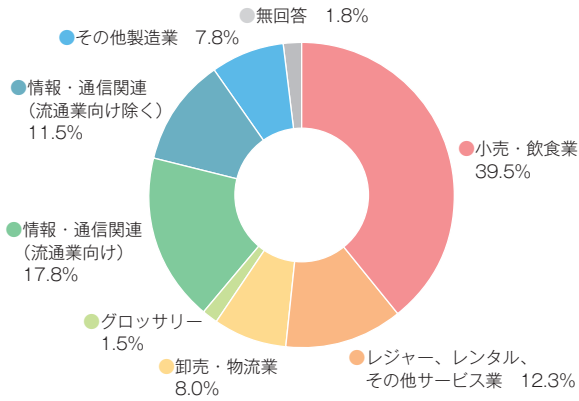


来場者アンケート集計結果

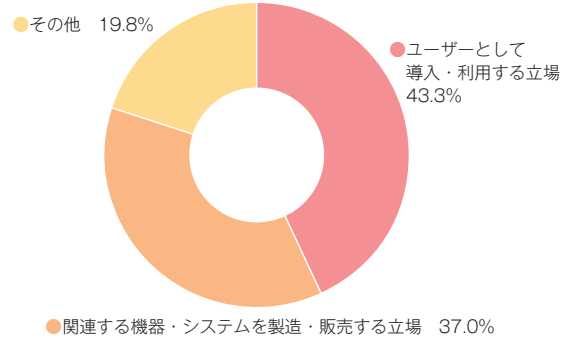
(回答数400人) ※四捨五入の関係で合計が100.0%にならない場合があります。

1 来場者属性

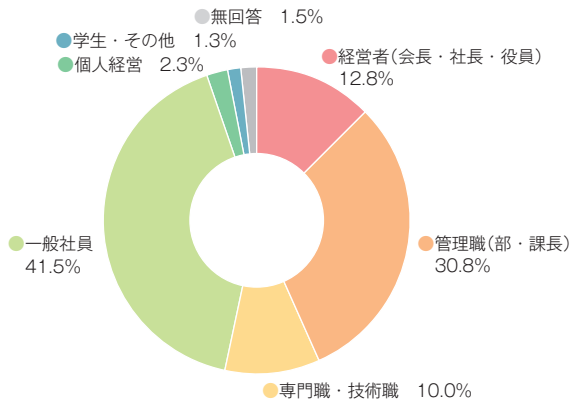
業種



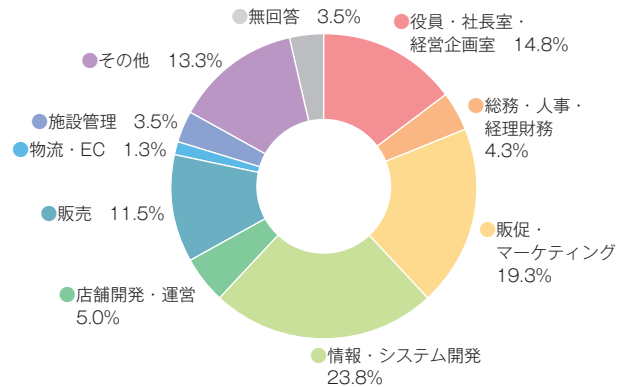
流通情報システムに関する立場



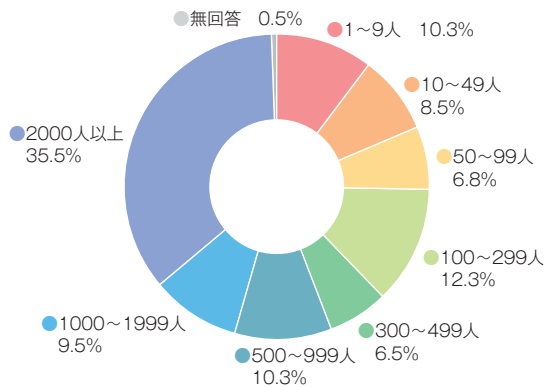
役職



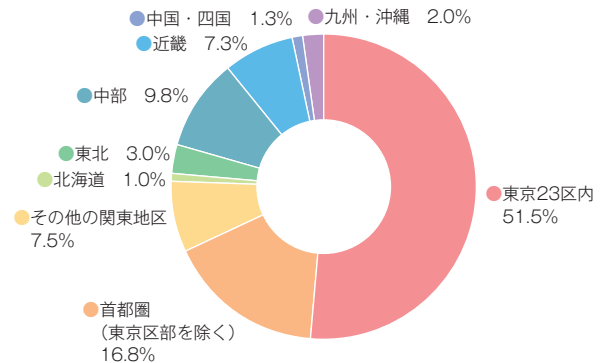
所属部署



企業規模(従業員数)

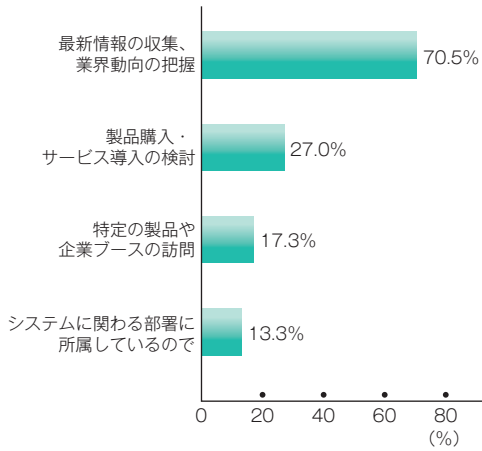


勤務先

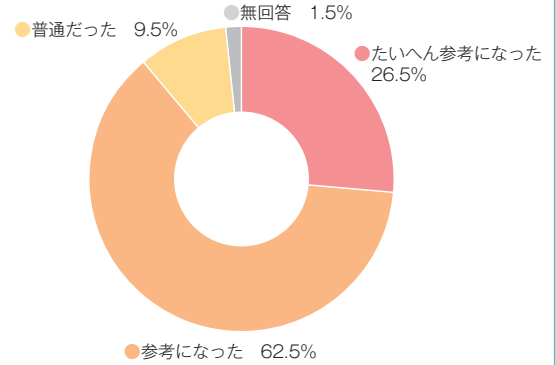


来場者アンケート集計結果

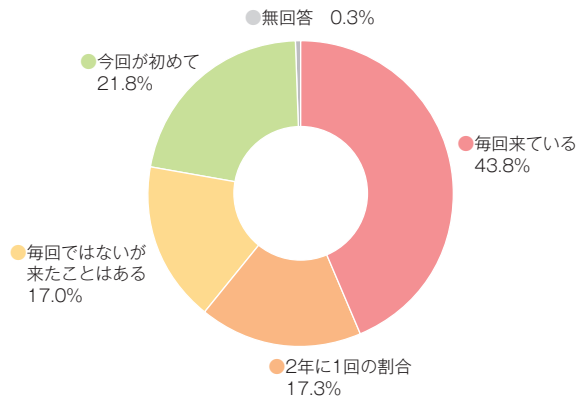
2 来場目的(複数回答)



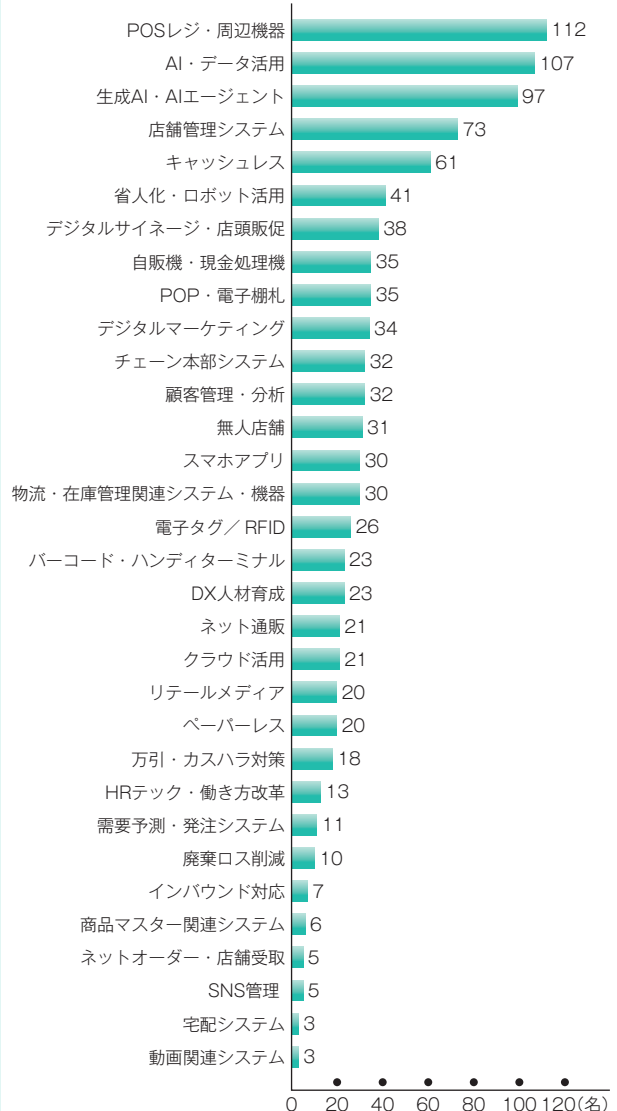
3 参考程度



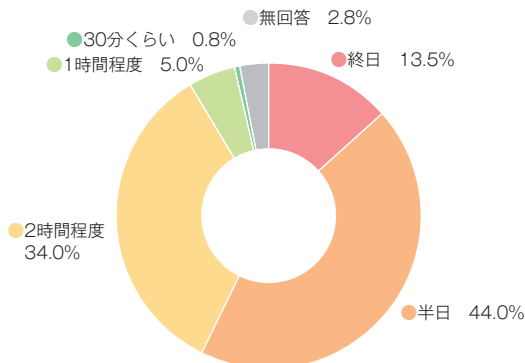
4 来場頻度



6 特に興味を持って見た出展物(複数回答)



5 滞在時間



会場風景

※リテールテックJAPANウェブサイトでは、展示会情報→フォトギャラリーで、他の写真も紹介しています。



会場風景





会場風景



※講師の肩書きは開催当日のものです。

3月3日[火]

RT-S1

10:30~11:00

Online配信

商品情報の共有化に関する取組について

平林 孝之氏(経済産業省 商務・サービスグループ 流通政策課 課長)



平林 孝之氏

RT-S2

11:20~12:00

Online配信

「商品情報プラットフォームを活用した新たな流通DXコンテスト」受賞者による事業紹介

丸山 竜二氏(経済産業省 商務・サービスグループ 流通政策課 課長補佐)
 藪中 明希子氏(サイバーリンクス 流通クラウド事業本部 リテール事業部 サービスイノベーション部 Mdb センタ 課長)
 後藤 陽一氏(Pioneerwork 代表取締役社長)
 萩原 静敏氏(Lazuli 代表取締役 CEO)
 泉 布希子氏(エクスポート・ジャパン アクセシビリティ事業部 部長)
 清原 智氏(サイバーリンクス 流通クラウド事業本部 SCM事業部 副事業部長)
 矢本 真丈氏(10X 代表取締役 CEO)



丸山 竜二氏



藪中 明希子氏



後藤 陽一氏



萩原 静敏氏



泉 布希子氏



清原 智氏



矢本 真丈氏

RT-P1

13:00~15:00

協賛：New Relic、Miraki、Rokt、VusionGroup

特別カンファレンス

小売ECの未来図：成長戦略と最新トレンド

基調講演

小売業と店舗の最新トレンド2026 小商圈時代の店づくり・デジタル化・データ活用のヒント

逸見 光次郎氏(日本オムニチャンネル協会 理事、CaTラボ 代表取締役)
 郡司 昇氏(店舗のICT活用研究所 代表)



逸見 光次郎氏



郡司 昇氏

安定稼働と顧客体験を支え、企画・開発・運用の協働を導くオプザーバビリティ

新川 太陽氏(ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス デジタル本部 システム運用部 チームリーダー)
 齊藤 雅幸氏(New Relic 技術統括 コンサルティング部 ソリューションコンサルタント)



新川 太陽氏



齊藤 雅幸氏

eコマース新時代：共創型マーケットプレイスの成長戦略

佐藤 恭平氏(Miraki 代表取締役 社長)

NRF 2026が示す新しい常識 日本のリテールのこれからの戦略

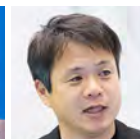
松田 誠氏(Rokt ビジネス開発)

AI一ネイティブストア〜リテールが拓く、次の10年

ゲイ ジョエル氏(VusionGroup APACチャンネルセールスディレクター)



佐藤 恭平氏



松田 誠氏



ゲイ ジョエル氏

3月4日[水]

RT-S3

10:30~11:10

Online配信

リテールテックユーザーズフォーラム

コミュニケーションリテラーの真髄 人とAIが創る接客の未来

小山 徹氏(エイチ・ツー・オー リテイリング 執行役員 IT・デジタル推進グループ長)



小山 徹氏

RT-S4

11:30~12:10

Online配信

リテールテックユーザーズフォーラム

ニューマン高輪の体験価値創造

鈴木 和馬氏(ルミネ 執行役員 ニューマン高輪店長)



鈴木 和馬氏

セミナープログラム

RT-E1

12:40~13:10

売上・顧客データを徹底活用するために必要なBIツールとは？

大沢 愛絵氏(ウイングアーク1st 事業戦略本部 DE事業戦略部)

RT-E2

13:30~14:00

AI検索時代に求められる！店舗の取扱・在庫情報の発信術

内門 智弥氏(ナビタイムジャパン ロケーションマーケティング事業部 部長)

RT-E3

14:20~14:50

人手不足に効く！賞味期限管理DXの実力

遠藤 和幸氏(スコープ WhywasteJapan事業部 開発グループ マネージャー)

RT-E4

15:10~15:40

壊滅的革新が塗り替えるリテールの新常識

アレックス氏(dunnhumby Japan マネージングディレクター)

RT-E5

16:00~16:30

無印良品ネットストア・アプリのこれまでの歩み

濱野 幸介氏(クラスメソッド 取締役/プリズマティクス 代表取締役 CEO)
高林 貴仁氏(良品計画 ITサービス コマースサービス部 個客サービス推進課 課長)



高林 貴仁氏

3月5日[木]

RT-S5

10:30~12:00

Online配信

GS1 Japan(流通システム開発センター)セミナー ～流通システム標準化の最新動向

GS1 Japan 産業横断レジストリーについて

「経済産業省の流通政策と商品情報連携に向けた取り組みについて」

丸山 竜二氏(経済産業省 商務・サービスグループ 流通政策課 課長補佐)

「GS1 Japan 産業横断レジストリーについて」

前田 秀氏(GS1 Japan(流通システム開発センター) 常務理事)

GS1標準SSCCを活用した共同物流プラットフォームによる、サステナブルな物流への取り組み

高野 茂幸氏(Sustainable Shared Transport 代表取締役社長)

情報志向型卸売業研究会(卸研)の最新動向 ～「次世代卸売業への変革」に向けて～

今村 孝樹氏(カナカン 取締役 情報システム部長)



丸山 竜二氏



前田 秀氏



高野 茂幸氏



今村 孝樹氏

RT-E6

12:40~13:10

生成AIが変革！商品マスタ構築と受発注自動化

梅田 祥太郎氏(リチエルカ 代表取締役 CEO)

RT-E7

13:30~14:00

拡大するキャッシュレス化を支えるQRコードソリューション

大林 広明氏(ニューランドAIDCジャパン 代表取締役)

RT-E8

14:20~14:50

世界のコマース最前線：安定と革新を両立するAIコマース基盤

馬場 道生氏(Shopify Japan カントリーマネージャー)

RT-E9

15:10~15:40

人手不足を補う未来対応型の自動化マイクロフルフィルメント

Dr. オリバー・フォグト氏(Transcend Retail Solutions CEO)

RT-E10

16:00~16:30

ugoロボットが変える次世代の店舗防犯

羽田 卓生氏(ugo取締役CSO)

3月6日[金]

RT-S6

10:30~12:00

Online配信

**流通研究社・月刊マテリアルフローセミナー
~特定荷主CLO義務化、製配販三層連携の共同配送、リテール物流新時代**

月刊マテリアルフローから読み取る2026年リテール物流の課題

神保 晃氏(流通研究社 月刊マテリアルフロー編集長 兼 編集・営業統括本部長)

2030年に向けた物流の在り方 —物流効率化の本格施行と物流効率化—

工藤 さやか氏(経済産業省 商務・サービスグループ 物流企画室 総括補佐)

製・配・販で取り組む『共同配送』について —三層連携における運送事業者の役割とは—

齋藤 雅之氏(ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングスロジスティック本部 物流戦略部)



神保 晃氏

工藤 さやか氏

齋藤 雅之氏

RT-O1

10:30~12:00

Online限定配信

**経済産業省主催「商品情報プラットフォームを活用した新たな流通DXコンテスト」受賞者による
パネルディスカッション**

丸山 竜二氏(経済産業省 商務・サービスグループ 流通政策課 課長補佐)

加藤 弘貴氏(流通経済研究所)

受賞企業

RT-E11

12:40~13:10

外資系企業に見る横断検索AIによる本部と現場の改革

千葉 祥多氏(東京エレクトロニクス CN BU CNビジネス開発室 インサイドセールスグループ)

RT-E12

13:30~14:00

AIが働く店舗、始まる。最新事例が示す小売の2030年

海野 裕也氏(Preferred Networks リテールソリューションズ事業本部 本部長)

RT-O2

13:30~16:45

Online限定配信

次世代卸売業への変革 —卸研成果発表—

今村 孝樹氏(情報志向型卸売業研究会(卸研)座長/カナカン取締役 情報システム部長)

RT-E13

14:20~14:50

AI学習外の領域が鍵！オペレーション科学・生産性改善の最前線

佐藤 貴志氏(USEN Camera Solutions 代表取締役社長)

中谷 一郎氏(トリノ・ガーデン 代表取締役)

RT-E14

15:10~15:40

AI導入が進むいま、つまずきやすい「データ活用の壁」と乗り越え方

青木 博信氏(ブレイド Chief CX Design Expert)

池田 桃子氏(ブレイド Retail Industry Sales Manager)



広報・宣伝実績／各種制作物

■日本経済新聞

掲載日	内容	
2026年1月26日	朝刊	社告 「日経メッセ」3月開催
1月26日	朝刊	記事 日経メッセ流通トップ講演受講者募集
2月 4日	朝刊	広告 「来場事前登録受付中」5段
2月23日	朝刊	広告 「来場事前登録受付中」15段
3月 2日	朝刊	広告 「明日開幕」15段
3月 3日	夕刊・ 日経電子版	記事 店舗DX、最新技術集う 日経メッセ開幕、1100社参加
3月 4日	朝刊・ 日経電子版	記事 日経メッセ街づくり・店づくり総合展から・上 「消費減税 機に刷新」
3月 5日	朝刊・ 日経電子版	記事 日経メッセ街づくり・店づくり総合展から・中 「AI・ロボで省人化」
3月 6日	朝刊・ 日経電子版	記事 日経メッセ街づくり・店づくり総合展から・下 「訪日消費取り込み」
3月 6日	朝刊	広告 「本日最終日！」(全15段)

■日経MJ

掲載日	内容	
2026年2月 2日	広告	「リテールテックJAPAN来場者募集」5段
2月 4日	広告	「リテールテックJAPAN来場者募集」5段
2月 6日	広告	「日経メッセ来場者募集」5段
2月 9日	広告	「リテールテックJAPAN来場者募集」5段
2月13日	広告	「日経メッセ来場者募集」5段
2月18日	広告	「日経メッセ来場者募集」5段
2月18日	広告	「リテールテックJAPAN来場者募集」5段
2月23日	広告	「日経メッセ来場者募集」5段
2月23日	広告	「リテールテックJAPAN来場者募集」5段
2月25日	広告	「日経メッセ来場者募集」3段
2月25日	広告	「リテールテックJAPAN来場者募集」5段
2月27日	広告	「日経メッセ来場者募集」5段 各ステージカンファレンススケジュール
3月 2日	広告	「明日開幕」15段
3月 2日	広告	「リテールテックJAPAN来場者募集」5段
3月 4日	記事	日経メッセ開幕 訪日客や人手不足対応がテーマ 1137社・団体が参加
3月 6日	広告	「リテールテックJAPAN来場者募集」5段

■メール

配信日	内容
2026年1月26日	リテールテックJAPAN展示会メールマガジン
1月29日	ダイヤモンド・リテールメディアメールマガジン
2月 5日	リテールテックJAPAN展示会メールマガジン
2月 5日	ダイヤモンド・リテールメディアメールマガジン
2月12日	リテールテックJAPAN展示会メールマガジン
2月19日	リテールテックJAPAN展示会メールマガジン
2月19日	ダイヤモンド・リテールメディアメールマガジン
2月24日	電子決済マガジン・メルマガ
2月26日	リテールテックJAPAN展示会メールマガジン
2月26日	ダイヤモンド・リテールメディアメールマガジン
3月 4日	リテールテックJAPAN展示会メールマガジン
3月 5日	リテールテックJAPAN展示会メールマガジン

■主なウェブサイト

掲載日	ウェブサイト名
2026年1月29日 ～3月16日	Yahoo!ニュース、LINE NEWS、NewsPicks、SmartNews、MSNニュース、dメジャーニュース、livedoor ニュース、FNNプライムオンライン、テレ朝NEWS、流通ニュース、DCSオンライン、ペイメントナビ、LOGISTICS TODAY、電波新聞デジタル

■テレビ

放映日	放送局・番組名
2026年2月3日 ～3月5日	日経メッセ開催告知CM (15秒スポット、60秒スポット)計112回 テレビ東京系列、BSテレ東、日経CNBC
3月3日	フジテレビ「News Live α」 “手ぶらで買い物”技術など展示 小売業の課題解決へ“最大級”見本市
3月4日	日本テレビ「DayDay.」 激戦スーパー “格安”新業態 時短！お買い物が“顔パス”に
3月5日	テレビ朝日「グッド！モーニング」 値引きシール貼らずに自動表示
3月5日	テレビ朝日「大下容子ワイド！スクランブル」 シールを貼らずに値引きを画面表示

■主な専門紙

掲載日	媒体名
2026年1月15日	流通&コンピューター
2月 5日	電子デバイス産業新聞
2月15日	流通&コンピューター
2月15日	総合報道
2月21日	信濃毎日新聞朝刊
2月24日	電波新聞デジタル
2月25日	鶏鳴新聞
3月10日	東奥日報
3月10日	秋田魁新報
3月10日	神戸新聞
3月10日	山陽新聞
3月10日	山陰中央新聞
3月10日	琉球新報
3月10日	高知新聞
3月10日	徳島新聞
3月11日	長崎新聞
3月14日	沖縄タイムス
3月15日	中国新聞セレクト
3月15日	流通&コンピューター
3月20日	OAライフ
3月20日	宮崎日日新聞

■主な専門誌

掲載日	媒体名
2026年1月号	GS1 Japan News
1・2月号	SC JAPAN TODAY
2月号	L&A network
2月号	DIAMOND Chain Store
2月号	MICE Japan
2月号	サイン&ディスプレイ
3月号	L&A network
3月号	電設資材
3月10日	週刊女性
4月1日	激流
4月号	パーキングプレス

■ウェブ広告

掲載日	媒体
2026年2月2日 ～3月6日	Google、Facebook、Instagram、X

▼日本経済新聞・朝刊(全面広告)

2月23日(月)

3月2日(月)

3月6日(金)

▼ポスター

▼新聞広告

▼雑誌広告

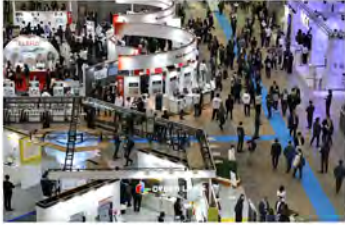
DM用案内パンフレット

▼日経電子版

3月3日(火)

日経メッセ開幕、1137社・団体参加 インバウンドや人手不足対策競う

2024年3月3日 11:02 | 日経電子版 | 読者数: 1,234



次世代の店舗で街づくりに関する製品・技術を集めた総合展示会「日経メッセ 街づくり・街づくり総合展」(JAPAN SHOP)などの展示会と特別テーマ展示で構成。主催は日本経済新聞社が1日、東京京浜で開催した。1137社・団体が参加し、インバウンド(訪日外国人)や人手不足などに対応するテクノロジーを競う。

6日まで東京ビッグサイト(東京・江東)で開催する。店舗のデジタルトランスフォーメーション(DX)がテーマとなり、人工知能(AI)などを使った最新の製品やサービスなどを紹介する。

従来業では人件費や原材料費、物流のコストが増加し、店舗運営の効率化が叫ばれている。自治体もデジタル化による食品消費促進や街づくりへの機転など、経営環境の変化に柔軟な対応が求められる。

日経メッセの主な展示

JAPAN SHOP
便器トラプル検知AI (LIXIL)
光を透過する浄水器 (たなか銘産)
建築・建材展
土を愛わない屋上・壁面緑化 (山崎産業)
折り曲げ可能な天然木シート (吉野がわかみプロダクト)
ライブデザインフェア
太陽光下の見え方に近い色のスポットライト (日本エスワイール)
Good家電Expo
高性能床用クリーナー (HIZERO Appliances)
リテールテックJAPAN
顔認証システム (NEC)
店頭販促のリアルタイム最適化提案 (TOPPAN)
SECURITY SHOW
4足ロボットによる自動監視点検 (TechShare)
ビルメンCONNECT
探検し物管理プラットフォーム (find)
人手不足対策展
電話対応AI (マイルストーン)
インバウンドビジネス展
訪日客の行動データを包括分析 (JTB)
フランチャイズ・ショー
飲食店や卓球教室のFC加盟相談など

(注) カッコ内は出展者。※は4日から開催

従来業のDXを集めた総合展「リテールテック JAPAN」の会場では、生成AIとロボット技術を組み合わせた商品提案を実現する商品も展示する。

店舗総合見本市「JAPAN SHOP (ジャパンショップ)」は店舗や地元の空間デザインに関連する製品・素材などを取り上げる。商業施設などに向けて太陽光で駆動し消費電力が少なくできるボスターといった新製品を展示する。

「SECURITY SHOW (セキュリティショー)」ではカメラによる被害を防ぐための商品を紹介し、「建築・建材展」では防災機能の高い木材・設備などを紹介する。

社会問題化する人手不足や定着する訪日外国人に対応するための技術やサービスを紹介する展示会も新設し、4日から開催する。「人手不足対策展」では店舗の集客対策を自動化するAIなどを展示し、「インバウンドビジネス展」では関連シンポジウムも開催する。

4日からは「フランチャイズ・ショー」も開き、フランチャイズチェーン (FC) 関連のビジネスを紹介する。

3月3日(火)

消費税減税はレジ買い替えタイミング 東芝テック、カートで商品登録

26日 日経メッセ 街づくり・街づくり総合展から

2024年3月3日 10:00 | 日経電子版 | 読者数: 567



次世代の店舗や街づくりに関する製品・技術を集めた総合展示会「日経メッセ 街づくり・街づくり総合展」が東京ビッグサイト(東京・江東)で3日開幕した。品出し業務効率化が課題となる食品消費促進がテーマとなる。小売店や飲食店のPOS(販売時点情報管理)システムの改修が急務となる。各社は税率変更が買い替えのタイミングとなるため最新機種を売り込む。

東芝テックはレジ機能付き買い物カートを表示した。手に取った商品をその場で登録でき、レジに並ぶことなく会計を済ませることができる。カートに搭載したタブレットには登録した商品に関連した割引クーポンを表示し、「買い得」などを促す。すでに全国の約250店で導入しているという。さらなる普及を目指す。

POSシステム開発のピシコム(津守・新潟)はセシールとセルフの両方に対応できるレジを紹介した。店舗の業種や人通りに応じて柔軟に使い分けられるという使い方ができる。営業本部の担当者は「POSレジ本体の寿命は約5年。2019年以降稼働率が低下したのを合わせて導入した店舗の買い替えが始まっている」と話した。



税率が変わる際は商品の値札の取り替えといった作業も必要となる。表示内容を簡単に変更できる電子価格の置き換えも行う。

TOPPANホールディングス傘下のTOPPANデジタルはメンテナンスが容易になる電子価格を紹介した。横に設置したレーンを通じて電力を供給することで、札の取替を一つ一つ交換する手間が省ける。

同規格は他社だけでなく、お墨の価格の店頭販売 (POP) も表示できる。採れたて商品の価格を発光ダイオード (LED) ライトで目立たせることもできる。

お墨の大手のインダ (京都市) は今秋までに発売する電子価格を披露した。棚のどの部分に価格を貼り付けたかを正確に把握できるのが特徴で、価格と商品がずれないかなどを自動で確認できる。従業員の手配などの作業を効率化する。

3月4日(水)

AI・ロボットで人手不足対策 LIXILは清掃効率化へDXトイレ

26日 日経メッセ 街づくり・街づくり総合展から

2024年3月4日 11:00 | 日経電子版 | 読者数: 890



小売・飲食業界で増える人手不足が課題になっている。東京ビッグサイト(東京・江東)で6日まで開催している「日経メッセ 街づくり・街づくり総合展」では、人工知能(AI)やロボットを使って省人化する最新技術が相次いで登場した。

LIXILはAIによるトイレのデジタルトランスフォーメーション(DX)サービス「LIXIL Toilet Cloud」を展示した。店舗向けの床置き機器には「詰まり検知機能」を新たに搭載。洋式器の内側に設置した水検知センサーが詰まりを検知すると、自動で水を止めてお知らせの音を発し、異常を通知する。

利用時の小費を省き、入浴センサーなどで使用された回数で自動でカウントして清掃のタイミングを知らせることで多く使われた便器だけを清掃できるようにする。手洗い機では、水かけの水量が少なくなると通知する機能も持つ。

LIXILでトイレ・トイレ事業部の取締役は「ビルや商業施設などのトイレの清掃は人手の確保が難しくなり、清掃の頻度を今までのように保てていくことが難しくなっている。清掃効率化サービスは高まっている」と話す。

厚生労働省によると飲食業などの接客・給仕職従事者の有効求人倍率(パート含む)は1月に2.43倍、小売店などの商品販売従事者は1.81倍と、全職種の1.14倍をいずれも上回った。日経メッセでは人手不足対策につながるテクノロジーの展示が目立った。



「社歴1日で誰もがベテランになれる」、AI開発のプリファード・ネットワークス(東京・千代田)はAIとロボットを活用した業務改善サービス「MiseMo (ミゼモ)」を展示した。

ブースではスマホ型の端末を使って在庫を簡単に探ることができるサービスを披露した。あらかじめ納品された商品の台車と番号を登録し、売り場で見つけた商品のバーコードをスキャンすると、倉庫で在庫が置いてある倉庫と取り出す順番をAIが指示する。入社初日のスタッフがでもすぐの品出し作業ができるという。



店内を自律走行で巡回するロボット「Misebo」も展示した。ロボットに搭載したカメラが商品のバーコードをスキャンして価格の誤りや欠品がないかをチェックする。約1600平方メートルの売り場面積の店舗であれば納品管理で点検できるという。

社は顔認証で買い物できる決済サービスも披露した。顔認証技術を使って一度顔を登録すると、様々なサービスや決済に顔認証が使われるようになる。現在「トリアル」によるデジタル決済のセルフレジで実証実験中。今後導入先を広げていく方針だ。

▼日経電子版

3月5日(木)



東京ビッグサイト（東京・江東）で6日正午開始の「日経メッセ街づくり・店づくり総合展」では、インバウンド（訪日外国人）の集客や接客に対応する技術の展示が目立った。2025年に過去最高の約4559億円となった訪日消費を取り込む。

免税サービスを手掛けるスイスのグローバルブルーは、「パスポートやレシートなどの情報をカメラで読み込むだけで免税手続きができるシステムを展示した。販売員が手続点にかかる複雑な説明をする必要がなくなる。

免税手続きは11月から商品購入時に一度消費税を払い、出国時に払い戻しを受ける新制度に移行する。従来は消費税後払いで購入することも可能になっていた。

同社のシステムは百貨店やドラッグストアなど約6000店舗が導入しており、日本市場で約5割のシェアを持つ。NTTデータとの共同出資会社の情報育英マーケティングマネジャーは「訪日客一人ひとりの来店履歴をデータで計測して、百貨店や総務ブランドと連携したクーポンを発行するなど販路拡大にも役立つことができる」と話した。

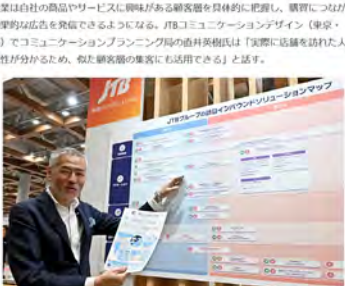


グローバルブルーが提供する免税手続きに対応するセルフサービス端末（東京都江東区東京ビッグサイト）

飲食店のモバイルオーダーサービスを手掛けるフリードマーケットジャパン（東京・港）は英語や中国語など多言語に対応した「Mr.Menu」を展示した。注文を受ける端末に営業員の母国語に合わせた翻訳が表示される。来店後でもない外国人の従業員でも母国語を使ってメニューやホール業務を行うことができるという。

ITはインバウンドの観光と旅行中の行動を結びつける企業向けデータサービス「Iconic（トリコンシール）」を紹介した。訪日客の旅行先が離れたウェブページや動画をもとに、化粧品メーカーやアパレル企業などウェブ広告を表示する。広告を閲覧した履歴と訪日中の位置情報を照らし合わせ、広告の店先に実際に訪れたかが分かる。

企業は自社の商品やサービスに興味がある顧客層を具体的に把握し、購買につながる効果的な広告を発信できるようになる。ITコミュニケーションデザイン（東京・港）でコミュニケーションプランニング局の直井英樹氏は「実際に店舗を訪れた人の属性が分かるため、似た顧客層の集客にも活用できる」と話す。



IT情報戦略のIconic（トリコンシール）の一角（東京都江東区東京ビッグサイト）

日経メッセでは4日、観光業界の経営者や専門家インバウンドの集客策について議論する「インバウンドサミット2026」が開かれた。米国家のスタートアップ企業、ケンブリッジ・イノベーション・センター（CIC）ジャパンの梅沢高明会長は「大都市だけでなく、地方でも盛りや振興など体験価値を高めてリピート需要を喚起する必要がある」と指摘した。

日本政府観光局（JTO）によると、25年のインバウンドは約4200万人と過去最多を記録した。データや人工知能（AI）を活用してインバウンドを効率的に集客できるサービスや現場の負担を軽減する技術への需要は高まりつつある。

▼会場マップ



▼ウェブパナー広告

街・店づくりに関する国内屈指のビジネス展

JAPAN SHOP
建築・建材展
ライディングフェア
Good 家電 Expo
リテールテック JAPAN

SECURITY SHOW
ビルメンCONNECT
フランチャイズ・ショー
人手不足対策展
インバウンドビジネス展

3.3(火)～6(金) 東京ビッグサイト
来場登録受付中

主催：日本経済新聞社

リテールテック JAPAN 2026
変革を求め流通のプロに-最新システムを体験-

来場登録受付中

NIKKEI MESSE 3/3(火)～6(金) 東京ビッグサイト 入場無料

リテールテック JAPAN 2026
流通・小売の“困った”をDXで一気に解消

来場登録受付中

NIKKEI MESSE 3/3(火)～6(金) 東京ビッグサイト 入場無料

▼テレビCM



次回開催 (予定)

(出展のご案内は6月に郵送でお送りする予定です)

第43回 流通情報システム総合展

リテールテック JAPAN 2027

国内最大の流通情報システム専門展示会

●会期：2027年3月2日(火)～5日(金) 午前10時～午後5時(最終日のみ午後4時30分)

●会場：東京ビッグサイト 東展示棟

同時開催：JAPAN SHOP、建築・建材展、ライティング&家電フェア、SECURITY SHOW、ビルメン CONNECT、熱中症対策 EXPO (初開催)、フランチャイズ・ショー*、人手不足対策展*、インバウンドビジネス展*

※「ライティング・フェア」および「Good 家電 Expo」は次回より「ライティング&家電フェア」として開催します。

*展示会の会期は3月3日(水)～5日(金)

●主催：日本経済新聞社

※開催展示会は変更となる場合があります。

出展料金 (税込み)

出展小間数	早期申込価格	通常価格
1小間	528,000円	561,000円
2～11小間	484,000円/小間	517,000円/小間
12小間以上	462,000円/小間	495,000円/小間

※2026年8月31日(月)までに出展申込手続きを完了した場合に、早期申込価格を適用させていただきます。

※来場者QR読み取りサービスを有料でご提供します(金額は税込み、予定)。●サービス利用料：165,000円 ●データ料金：1件あたり55円

※フランチャイズ・ショー、人手不足対策展、インバウンドビジネス展は出展料金が異なります。

出展対象分野とゾーン構成

流通・小売業向け情報システム、機器、サービスの最新情報を発信

トータル流通情報システム	店舗から本部まで、総合的な流通情報システムの提案
決済・キャッシュレス	キャッシュレスや決済に関連するシステム
リテールメディア・店頭販促	商品の広告や店頭での販促を行うシステム
AI・データ活用	流通業で活用できるAIと、基盤となるデータの活用
EC・デジタルマーケティング	次世代のECサイト構築・運用とデジタルマーケティング
流通HR	採用、労務、教育など流通業の人事業務支援
業種別ITソリューション	<input type="checkbox"/> アパレル <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> サービス 各業界向けのITソリューション
【特別企画展】リテール物流	物流課題を解決し、コストを下げるためのシステムやマテハン機器

リテールテック大阪2026

●会期：2026年7月2日(木)・3日(金) 午前10時～午後4時30分

●会場：インテックス大阪

●同時開催：SECURITY SHOW 大阪、フランチャイズ・ショー大阪、JAPAN SHOP 大阪、建築・建材展大阪

お申し込み・お問い合わせ先

日本経済新聞社 コンテンツデザインユニット イベント事業部「リテールテック」担当

<https://www.retailtech.jp/>

〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7

TEL.03-6256-7355 FAX.03-6256-7844 retailtech@shopbiz.jp